

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 佐渡市子ども若者相談センター

公表日 令和8年3月25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	部屋に合わせてクラスの人数を決めているため問題はない。ただ、クラスによっては大勢部屋に入るため、時には狭く感じたり、廊下から見学してもらった。	保護者の人数等が多かった場合には、事前に来訪人数を確認したり、場合によっては廊下でも子どもの姿を確認することができるような体制を職員で検討しながら整えていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	バリアフリーにはなっていない。	情報を見やすくするために、ホールに掲示板を設置しています。また、必要な情報をすぐに見つけることができるよう、レイアウトに配慮していますが、今後も意識して取り組んでいます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		指導の前後にミーティングやカンファレンスを実施し、その日の子どもの状態や活動内容を共有しています。加えて、カンファレンスを実施することで次回の活動内容を必要に応じて修正しています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		保護者評価の結果を職員で共有しているほか、活動中に聞かれた保護者の意見についてもその日の内に職員間で共有しています。今後も、継続して実施していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		定期的に職員で集まる時間を設けています。その中での職員の考えや意見を取り入れながら、運営を行っていますが、次年度も継続して行きたいと思えます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		外部評価については実施していません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		佐渡市ホームページに掲載しております。しかし、保護者への周知が十分ではないと考えられますので、次年度はより分かりやすい周知方法を検討していきたいと思えます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		児童発達支援計画や提供したサービスの記録について、児童発達支援管理者が確認を行っております。その中で、必要な情報等について職員間で共有し、次回の活動や支援内容に反映させています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・対象児の通所園に対して、必要に応じて共有を行っている。	地区担当保健師や相談支援事業所、通所園の保育士等の様々な機関と連携をしています。次年度も引き続き、対象となるお子様について機関同士で連携していく体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		児童発達支援計画の内容だけでなく、対象となるお子様の課題や様子について、園等巡回支援事業の担当職員とも連携を図りながら、お子様の園での様子や療育での様子を共有しています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		支援学校や特別支援学級の見学に同伴したり、教育支援委員会に参加して対象となるお子様の様子について情報共有を行っています。また、必要に応じて行政・教育機関と連携を図る機会を設定しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		当事業所は障害児通所事業所であるため、対象のお子様は地域の保育園に通園していることが多いです。通所園の中で、活動に参加し日々を過ごしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	対応はしているが、落ち着いてゆっくり話す時間がなかなか取れない。短い指導時間内では難しいところもある。	保護者相談の時間を別日で設けることができることを紹介したり、指導の追加や振替を利用したりしながら保護者の相談を行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		父母の会としての交流はありませんが、クラスによって、保護者同士で話をするができる時間を設けています。参加している保護者からも高評価をいただいておりますので、次年度も継続して交流できる時間を作ってまいりたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		ミュージック・ケア等の活動が入る場合には、ホールの掲示板でお知らせしています。また、急遽予定が変更となる場合については、メールや電話等で保護者様に対してご連絡をしております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		記録等、個人情報については棚に施錠をする他、その部屋を職員以外立ち入り禁止にしています。また、関係機関と情報を共有する際には、保護者様にもご説明をする等の対応を行っています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		うまく自分の気持ちや考えを伝えることが難しい場合には、職員が代理となってお伝えすることがあります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		当事業所につきましては、多方面の地域のお子様に参加することから、個人情報保護のため、地域の方が参加する行事を開催しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		対応マニュアルについては各ご家庭に配布しております。また、お子様のご参加時に定期的に避難訓練を行っているほか、職員のみで各災害・緊急対応への訓練を実施しております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		各年度に合わせてBCPを作成し、その内容に沿った訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		各担当職員が確認しておりますが、今後は職員間で共有することができる一覧表を作成する等の工夫を行っていききたいと思います。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食事提供を行っていない。	食事提供を行ってはいませんが、家庭での食事や保育園での食事について必要に応じて相談等に対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・定期的に避難訓練を行い周知している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		安全確保のためのマニュアル等を整備しておりますが、保護者への周知が十分ではないと思いますので、次年度にどのような周知方法があるか検討していきたいと思っています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・指導後に行われる毎日のカンファレンスの中で、検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・少人数での有意義な研修を受けることができています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		現在、身体拘束を必要としているお子様の通所はありません。しかし、当事業所と契約を結ぶ際に、ご説明をさせていただいております。今後、やむを得ず身体拘束をする場合には、保護者様にその可能性も含めて事前に十分なお説明をさせていただきます。	